

## 種時く人資料室へようこそ！ 第4回 金子洋文のペンネーム

土崎港古川町に生まれた金子洋文。本名は吉太郎ですが、なぜ「洋文」というペンネームをつけたのでしょうか。

「東京新聞」(昭和29年4月7日掲載)にて、上京して電気商店で小僧として働いていたときのエピソードとして、次のように明かしています。

在京の折、同姓同名の、神田猿樂町の菓子屋さんが、詐欺か何かで、新聞へ出ていたのをみて、吉太郎にうんざりした。

文学熱にとりつかれたのは廿歳(※はたち)前後で、ペンネームを考えたが、この電気商店に、秋田出身の近江洋生という人が支配人をしていて。(中略)…洋生という名前に魅力があつたのと、土崎港生れで、当時は海へのあこがれが強かつたので、まず上に「洋」を持つてきた。さて、その下がなかなかみつからない。そこで、惚れた女の名を、二三ならべているうち、呼びよいせいか、仲間がそう呼ぶようになってしまった。

「東京新聞『私のペンネーム』」より抜粋

記事では続けて「女の方は何も知らない」とあります。淡い恋の思い出があったのかもしれない。



↑ 昭和27年に発給されたパスポート。本名で自署すべきところを「洋」と書きかけ、あわてて「吉太郎」に直したことがわかります。

参考：金子洋文資料

## おすすめ！電子書籍

今回ご紹介する電子書籍は、7名の作家による旅とグルメのアンソロジー。祖母と行くはずだったお伊勢参り、自分のルーツを探るために向かった出生地の松本…など、心ときめく旅の風景やおいしいものがつまった一冊です。

心に残った場面をもう一度読み返したい時は「しおり機能」が便利です。ページの右上をクリック(タップ)すると、三角マークのしおりを付箋を貼るような感覚で最大20個までつけることができます。

おいしい旅  
しあわせ編  
大崎 梢 他/著  
KADOKAWA  
913.68

## 図書館員のつぶやき

土崎図書館から一番近い書店はどこですか？と聞かれた時に案内していた書店が昨年夏、閉店。街から書店が消えていくことは、もう誰にも止められないのかもしれない。その一方、店主こだわりの新刊、古書、雑貨などを扱う書店があちこちで奮闘しています。今年は、気になる書店巡りをしようと思案中。(藤原)

### 1・2月の行事予定

おはなし会○(まるっ)(第3木曜日)  
おはなしの会 (第1,3,4土曜)  
おりがみの会 (第2土曜)  
対面朗読・テレフォンサービス(火・木曜)  
※1月のおはなし会○(まるっ)はお休みです。

## かぞくぶっくぱっくがリニューアル！

様々なテーマで本を詰め合わせた本の福袋・かぞくぶっくぱっくの中身が、12月から新しくなりました！通常、ぱっくの中身は非公開ですが、カウンター前に各コースにつき1ぱっく限定で公開しています。

例えば、あおばコースの17番は「やっぱり、犬がスキ♡」がテーマです。可愛くて人懐こい犬の魅力が詰まっていて、犬が好きな人はもちろん、犬にあまり詳しくない人でも楽しめるぱっくです。

また、リニューアル前のぶっくぱっくに入っていた本を館内に展示しています。1冊から貸出しできるので、3冊セットでは借りにくかった方や、もう一度読みたいと思った本だけを借りたい方も気軽に借りることができます。ぜひご覧ください。

あおばコース17番の3冊



## 「ミニ展示」コーナーをチェック！

土崎図書館では「新着図書」や「企画展示」などの各種展示コーナーのほかに、本棚の間の壁面を活用した「ミニ展示」コーナーを設けているのをご存じですか？このたび、図書館入口付近にある掲示板に、展示中のテーマをお知らせするスペースを新設しました。図書館にお越しの際は、ご活用ください。

4つの「ミニ展示」コーナー



↑ 壁や柱を有効活用し、それぞれ「実用書」「日本文学」「海外文学」「郷土資料」の棚付近に設置。テーマに合わせて定期的に本を入れ替えています。

掲示板のお知らせスペース



↑ 図書館入口にある掲示板。ここを見ると、4つの「ミニ展示」コーナーのテーマがわかります！

## 新しくいった本（一般書）の紹介

担当：小玉

### 源頼朝に挑んだ秋田人・大河兼任

佐藤 晃之輔／著  
秋田文化出版 A 212.4 サ

鎌倉時代の歴史書『吾妻鏡』に「源頼朝に滅ぼされた奥州藤原氏の仇を討つため挙兵した」と記される大河兼任。しかし、生まれた場所や支配していた地域も明らかではありません。県内の市町村史などにのこされた数少ない記述を比較しながら、謎の多い武将について考察します。



### 歳をとった親とうまく話せる言いかえノート イライラが思いやりに変わる80のレッスン

萩原 礼紀／著  
ダイヤモンド社 367.7 ハ

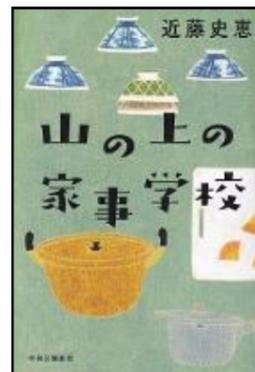
「高齢の親といつもケンカになってしまう」こんな悩みを抱えている方も多いのでは？心配しているからこそ、つい遠慮のない言い方になりがちな家族との会話。

本書では親を傷つけることなく、自分もイライラしないコミュニケーションの秘訣が紹介されています。

### 山の上の家事学校

近藤 史恵／著  
中央公論新社 F コドウフ

離婚から1年、幸彦は部屋の片付けもままならない荒んだ生活を送っていました。一念発起して入学したのは、男性が家事を学ぶための「山之上家事学校」。様々な事情を抱えた生徒たちとの出会いから、過去の後悔と向き合うことになり…。「家事」を通して成長していく大人の物語です。



### おすすめ BOOKリスト

今回のテーマ  
おうち時間のたのしみ  
担当：佐藤

- ① 今夜はごちそう煮込み  
「ひと手間」でおいさと幸せひろがる  
大橋 由香／著 ナツメ社 596 オ
- ② 大人が楽しい紙ペンゲーム30選  
すぐろくや／著 スモール出版 798 ス
- ③ 大人絵日記 人生が豊かに変わる  
あまがい しげこ／著 大和出版 726.50 ア

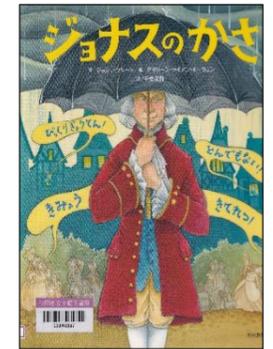
## 新しくいった本（児童書）の紹介

担当：近藤（紘）

### ジョナスのかさ

ジョシュ・クルート／文 アイリーン・ライアン・イーウェン／絵  
千葉 茂樹／訳 光村教育図書 E I （低学年から）

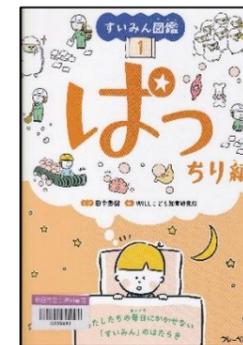
ロンドンでは昔、傘をさすのはみっともないことと考えられ、雨でも人々は傘を使っていませんでした。そんななか、ある男が雨の日に傘を使い始めます。馬鹿にされても30年間ずっと…。さて、30年後、街の人たちに起きた変化とは？実話をもとにした絵本です。



### すいみん図鑑1 ぱっちり編

わたしたちの毎日にかかせない「すいみん」のはたらき

田中 秀樹／監修 WILL こども知育研究所／編  
フレーベル館 49ス （中学年から）



睡眠中、体はただ休んでいるだけ？いいえ、実は体の中は動いていて骨や筋肉を成長させたり、記憶を整理したり様々なことをしています。この本ではこうした睡眠の働きをわかりやすく紹介。「すいみん図鑑」で私たちの体の不思議な仕組みを調べてみましょう。

### おばけのアッチ くるくるピザコンクール

角野 栄子／作 佐々木 洋子／絵  
ポプラ社 91カ （低学年から）

ピザコンクールに参加したおばけのアッチは大はりきり。美味しいピザを作るため、すごい速さで生地を回しますが、あれ？生地が浮かんでアッチと一緒に空に飛んでしまいました。お月様に助けられたアッチはそのまま空の上でピザを作り始めます。一体どんなピザができるかな。



雪まつりや各地の伝統行事など、冬はイベントもいっぱい。でも、暖かい部屋でゆっくりと流れる時間を楽しむのもまた、冬の醍醐味ではないでしょうか？

①憧れの煮込み料理からシンプルなおかずまで、温かレシピが盛りたくさん。じっくり出来上がりを待つ時間もきっと格別。良い香りに心も満たされて、お腹がいっぱいになったら、みんなでゲームはいかが？②は特別な道具のいらぬゲーム30タイトルを紹介。対象年齢が記載されていて、5才頃から一緒に遊べるものもあり、家族みんなで楽しめます。③の著者は秋田市在住。「絵日記を描く」という視点が加わると、見慣れた風景もひと味違って見えるかも。まずは家の窓から見える景色を描くことから始めてみませんか。